NTTLS

LIVELY & SMILEY

教育ICTの学びによる笑顔を、最前線からレポート！

No.6

先生も生徒も楽しめるICTをボトムアップで整備する先生に取り組みの秘訣を聞く

立正大学付属立正中学校・高等学校
杉山 茂巳先生

教員と生徒の「こうしたい」という声を拾う、ICT導入にはそれが大事だと思います

「学んだ知識や経験を行動で示していくこと」をめざす立正中学校・高等学校では、昭和62年のコンピュータの導入以来、先生の「使いたい！」の声に応えながらICT整備が進められています。これまでの取り組みと今後の展望について、担当の杉山先生に伺いました。

杉山　茂巳先生
（すぎやま しげみ）
立正大学付属
立正中学校・高等学校 教諭

ICTを整備し始めた経緯を教えてください。

本校のICTの歴史は大崎校舎時代に遡ります。昭和62年ごろにはコンピュータがあり、授業で活用していました。平成10年には一部の教室に、平成18年には全館にLANを整備。教員がノートPCを持ち込み、プロジェクターで資料投影できる環境を整えていました。

世の中のインターネット普及に先駆けていたのですね。

本校は、新しい技術を取り入れようとする空気感がベースにあるんです。ただ、実際に使ってみると、プロジェクターを持ち込んでスクリーンを黒板に貼るのは手間がかかり、授業利用はハードルが高い。教員の負担を抑えた環境整備の重要性を感じました。

平成25年に、品川区大崎から大田区西馬込に移転しましたね。

はい。大田区は積極的にICT整備をしており、本校生徒は大田区の小中学校出身者が多いので、同等以上の学習環境を整備していかなければと思いました。ですが、環境を一気に整備して「使ってください」では押しつけ感がありますし、私は、教員と生徒が楽しく学ぶためのICT活用をめざしていたので、段階的に進めたいと考え、NTTLSの方に相談し、平成28年から、電子黒板を中心とした整備と、研修とICT支援員による教員支援を始めています。

先生方の反応はいかがでしたか。

1年目は電子黒板を中学の全教室に常設型、高校に移動型を5台整備しましたが、高校の教員から「足りない！」と声があがり始め驚きました。PCで作成した資料を使いたい、動画教材を使いたい、と便利さを感じたようです。教員から前向きな要望が出るなかで進めていきたかったので、よかったなと思いましたね。その声をうけて翌年度、高校も全教室常設型の電子黒板を整備しました。

ICT支援員のサポートはどうですか？

私がサポートしきれない技術面の支援、短時間の操作研修を担ってもらいました。一見難しそうでも、わりとシンプルなんですよ、と伝えることから始めたくて。教員からICT支援員さんに「こうしたい」「これが困っている」と質問が増えていますし、理解度に合わせて支援してくれるので心強い存在なんだと思います。職員室のICT支援員さんの机脇のホワイトボードには、質問がたくさん寄せられていますよ。

教員研修は、どのように進めていますか。

平成28年から毎年定期的に行っています。教員が教科別グループになりワークショップをするなど、NTTLSの方に相談して一緒に進めています。毎回講師から、全国のICT整備状況や情報教育、他校の状況等、「今、世の中がどうなっているのか」を、伝えてもらっています。質問に対して、非常に明確な返答をもらえるので、本校の教員は、ここ数年の情報教育の変化を把握できていますね。

今後はどうお考えですか。

次はタブレットかな、と思っています。以前の整備では、教室でのPC活用は起動が遅くうまく進みませんでしたが、タブレットは立ち上がりが早く、教員のやりたい授業が実現できるのでは、考えています。教員から徐々に広めて、「使って楽しい！」と生徒にも感じてもらえるのが大事だと思いますね。「楽しい！」で徐々に広まっていく、それが立正らしさといえるのかもしれません。

こんな試みも！

日常に根付くICT―文化祭、PTA会合でも大活躍！

生徒たちはスマホを使いこなしている世代。教えなくても機能を見つけて操作しますし、私には思いつかない使い方を提案してくれます。例えば、２年くらい前の文化祭で、演劇の背景に電子黒板を使いたいという要望が出ました。３台の移動式電子黒板を並べ、そこにシーンごとの風景を映して連動させたいというのです。ＩＣＴ支援員さんと相談して進めてましたよ。また、ＰＴＡの会合が定期的にあるのですが、先生が作ったスライドショーを電子黒板で投影して、授業や体育祭の様子など、生徒たちの学校生活を見ていただいてます。

演じる場面に応じた背景を電子黒板に映し出すという演出を、生徒たち自ら発案し文化祭で披露

問い合わせ先：エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ株式会社　教育ICT推進部
TEL 03-5419-7219（代）　e-mail with-school2020@nttls.co.jp　URL http://nttls-edu.jp/

2019.12